

当院患者さんへの情報公開文書

摘便処置に関する実態調査

-単施設前向き観察研究-

についてのご説明

札幌いしやま病院 第1版作成 2025年11月2日

1. 研究目的

本研究は、当院で行われている摘便処置について、実施頻度、患者背景、処置時間、安全性（出血・疼痛等）および人的・物的コストの実態を明らかにし、今後の排便ケアの質向上に役立てることを目的としています。

2. 研究対象者

2025 年～2026 年の間に、札幌いしやま病院において通常診療の一環として摘便処置を受けた患者さんが対象です。

本研究では、診療情報を匿名化して使用し、研究のための新たな検査や治療は一切行いません。

3. 研究実施期間

倫理審査承認日から 2026 年 12 月 31 日までとします。

研究終了後も、得られた成果の学会発表・論文化を通じて 2027 年以降に成果報告を行う可能性があります。

4. 利用する情報

診療録、看護記録、摘便処置チェックシートなどに記載された以下の項目を利用します：年齢、性別、併用薬、併存疾患、処置内容、有害事象など。

個人が特定される情報はすべて削除し、匿名化して使用します。

5. 研究成果の公表

結果は統計的に処理し、個人が特定されない形で学会・研究会・学術誌等で発表します。

6. 医学上の貢献

本研究により、摘便処置の実態と課題を明確にし、安全で効率的な排便管理体制の構築、看護師業務負担の適正化、診療報酬体系の改善に寄与することが期待されます。

7. 個人情報の管理について

収集したデータは完全に匿名化し、研究結果は統計的に集計された形でのみ発表されます。個人が特定される情報は一切公表されません。データは病院内で厳重に保管されます。

また、本研究で得られた対象患者さんの情報等は本研究目的以外に使用しません。

8. この研究に情報を提供したくない場合の手続きについて

本研究は、通常診療で得られたデータを用いるオプトアウト方式で行われます。研究への協力を希望されない場合は、いつでも下記までお申し出ください。その場合、該当する

データは研究に使用いたしません。

ただし、ご連絡をいただいた時点で既に、研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果からあなたに関するデータを取り除くことが出来ず、研究への参加をとりやめることが出来なくなります。

9. 研究実施体制

研究責任者：札幌いしやま病院 医師 秋月恵美

研究分担者：札幌いしやま病院 名誉院長 石山勇司

札幌いしやま病院 理事長 石山元太郎

札幌いしやま病院 院長 西尾昭彦

札幌いしやま病院 医師 鈴木崇史

札幌いしやま病院 医師 佐藤綾

補佐者（事務局担当）：医師事務作業補助者（研究責任者監督下）

10. 研究資金について

本研究においては、企業より特別な資金の提供を受けておりません。

11. 問い合わせ先

札幌いしやま病院 研究責任者 秋月恵美 または 理事長 石山元太郎

〒064-0915 北海道札幌市中央区南 15 条西 10 丁目 4-1

TEL 011-551-2241

12. 研究実施場所

札幌いしやま病院（外来）